

살 리 다 チャンスをいかす

～パラリンピックへのチャレンジ～



左の写真は池田さんです。池田さんは22さいです。池田さんの右のあし(legs)は義足(artificial legs)です。

池田さんが中学校3年生のとき、義足(artificial legs)の修理やさんに1枚の写真がありました。

それは北京パラリンピックの選手の写真でした。その選手が走り幅とび(running longjump)でジャンプする瞬間(moment)の写真でした。池田さんはその写真を見ました。「ぼくもオリンピックに出たいです！」池田さんは小さい時から運動が好きでしたから、修理やさんの写真は池田さんの人生を変えました。

高校はスポーツ科(major)に行きました。高校の友だちにはいつも「ぼくはパラリンピックに出たい！」と(라고)話しました。先生も友だちも池田さんの話を信じ(believe)ませんでした。でも池田さんは毎日走る練習をがんばりました。

2013年、ジャパンパラ陸上競技大会(JapanParaChampionship)がありました。400メートルリレーの選手がいませんでした。池田さんは100メートルが専門(major)です。でもチャンスですから400メートルリレーに出ました。難しかったです、このとき「これはぼくもできる！」と思いました。

「今の池田さんの目標は何ですか。」

「2020年の東京オリンピックに出たいです。夢が大きいですから、練習をがんばりたいです！」

